

取扱説明書

保証書付

ver.1



取扱説明書 保証書付き

この度は、アイネクス製品をお買い上げ頂きまして
誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

この製品を安全に正しく安全にお使いいただくために、
取扱説明書をよくお読みになり、理解していただいた上で
お使いください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

本製品は、一般家庭用です。

業務用にはお使いにならないでください。

日本国内専用 USE IN JAPAN ONLY

もくじ

製品安全上の注意	2
各部のなまえ	5
ご使用になる前に	6
食器の洗いかた	8
お手入れのしかた	14
据え付け/設置	16
仕上がりが気になるとき	19
食洗機本体の庫内が気になるとき	20
故障かなと思ったら	21
仕様	23
部品・消耗品	23
保証書	24

最初に「据え付け/設置」P.16ページをお読みになり、
正しく設置してください。

| 製品安全上のご注意 —必ずお守りください—

ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。



禁止

してはいけない「禁止」事項の内容です。



指示

実行しなくてはならない「指示」内容です



本製品の取り扱いについて



分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはアイネクス
サポートセンターにご相談ください。



子どもや介護が必要な方だけで使わせたり、
幼児の手の届くところで使わない
ペットしかいない状況で使わない
やけど・感電・けがの原因になります。操作できる
人が必ず付き添ってください。

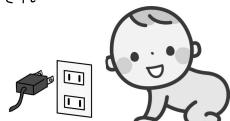
乳幼児には特にご注意

子どもだけで使わせたり、
乳幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・ケガのおそれ



器具用プラグをなめさせない。

感電・ケガのおそれ



蒸気口に顔や手を近づけない。

感電・ケガのおそれ。特に乳幼児には、
さわらせないように注意する。



本体、電源コード、電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



火気を近づけない
タバコや火のついたローソクなどを本体に近づけないでください。火災の原因になります。



製品運転中は、絶対に庫内や食器
メッシュトレイに触れない
やけどの原因になります。



本体のお手入れは運転終了後、30分以上経過してから行う
やけどの原因になります。



穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しないなど

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはアイネクスサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



運転中は本体に衝撃を与えない

感電・漏電・ショートによる火災の原因になります。



アースを必ず取り付ける

故障や漏電時、感電の原因になります。アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店に依頼してください。(工事費は本体価格に含まれません。)



ガスコンロなどの熱源から30cm以上離す
火災の原因になります。

| 製品安全上のご注意 —必ずお守りください—

⚠ 警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



電源プラグをなめさせない
特に乳幼児には触れさせないように注意してください。感電・けがの原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える
使いかたや、交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



延長コードやテーブルタップは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。



電源コードを束ねて使わない
熱の逃げ場がなくなりて高温になり、ショート・発火の原因になります。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



お手入れするときや長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く
外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

⚠ 警告

UVライトについて



点灯中のUVライトは、絶対に肉眼で見ないでください。
目の痛みや視力障害の原因となります。



紫外線を皮膚にあてないでください。
皮膚の炎症を起こす原因となります。

| 製品安全上のご注意

—必ずお守りください—

⚠ 注意

本製品の取り扱いについて



本製品を絶対に業務用に使わない
本製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。



操作パネルに磁気のあるものを近づけない
誤作動の原因になります。



排気口から出る湯気や排水ホースからの排水に触れない
やけどの原因になります。



洗浄中にドアを開けるときは、《スタート／一時停止》ボタンを押して運転が停止したことを確認する
また、高温の庫内・メッシュトレイ・湯気・食器などに充分注意して開ける
やけどの原因になります。



本体を動かしたり傾けたりしない
水漏れの原因になります。



ドアを開けている時、ドアの上に重いものを載せない
落下して、けが・故障の原因になります。



本体の上に乗ったり物を置いたりしない
落下、破損によるけがの原因になります。



開いたドアや本体を強く押さない
転倒・落下によるけがの原因になります。



食器がはみ出た状態でドアを閉めない
ドアが変形し、熱湯や水が飛び出し、やけどの原因になります。



ドアを開閉するときは、指を挟まないように注意する
けがの原因になります。



運転終了後は分岐水栓を閉める
水漏れの原因になります。

使用上の注意事項



食器洗い機専用洗剤を使用する
台所用洗剤などを使用すると泡が大量に発生し、水漏れや故障の原因になります。



台所用洗剤や重曹を使用しない
台所用洗剤が付いた食器は洗い流してから入れてください。また、重曹を使うと故障の原因になります。



お湯を使用しない
お湯をタンクに入れると故障の原因になります。
また本製品は給湯機に接続できません。



ナイフや先の尖ったものは、尖っている方を下向きに入れるか、横に寝かせて入れる
けがの原因になります。



付属品は必ず専用のものを使う
異なる製品の付属品を使用すると、付属品の破損、本製品の故障の原因になります。



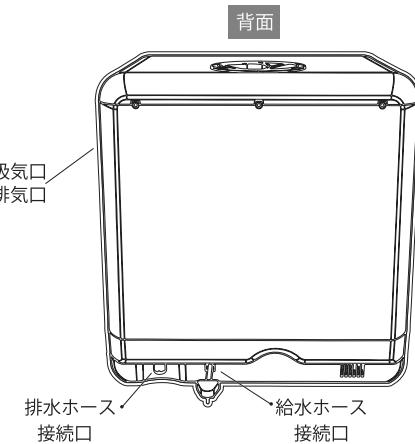
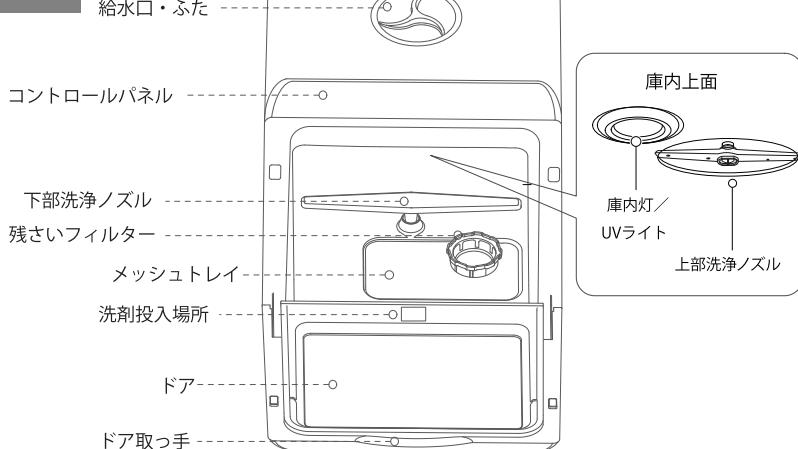
テレビやラジオなどの電気製品は、食器洗い機の近くで使わない
画像の乱れや雑音の原因になります。



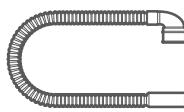
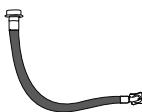
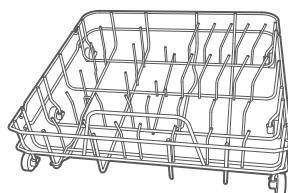
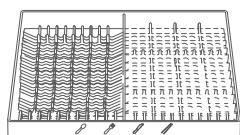
使用していないときはドアを閉める
設置場所によっては、手が当たったり、つまずく原因になります。

各部のなまえ

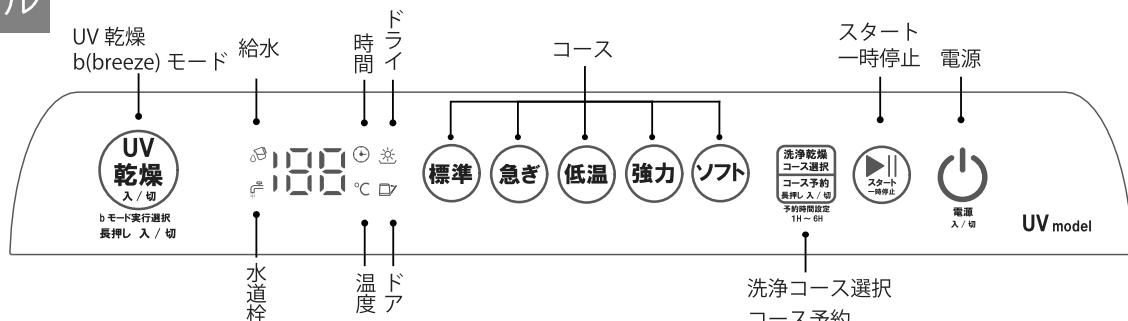
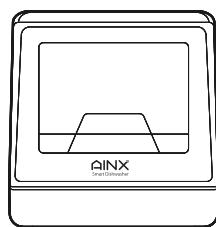
本体



付属品



コントロールパネル



名称

使用用途

UV 乾燥 b(breeze) モード	「UV 乾燥」コースについて 「b(breeze) モード」の使い方
100 °C ディスプレイ	運転時間、予約運転時間のほか、給水、水道栓表示ランプ、時間ランプ、温度ランプ、ドライランプ、ドアランプの各アイコンが表示されます。 運転中は洗浄動作完了またはUV乾燥完了までの時間が表示されます。 ※洗浄+UV乾燥モードを実行した場合、時間表示は、洗浄時間と乾燥時間それぞれの動作完了までの残り時間が表示されます。
洗浄コース	「5つの食器洗浄コースについて」
洗浄コース選択 コース予約	各洗浄コース/UV乾燥コースを選択する場合に使用します。 各洗浄コース/UV乾燥コースを確定後、長押しして1時間から6時間までの予約時間設定します。
スタート / 一時停止 電源 入 / 切	運転を開始する、一時停止するときに押します。 本体の電源を入れる、切るときに長押しします。

ご使用になる前に

本製品は、説明に従って正しく設置してください。

► 「据え付け/設置について」 P.16

洗えないもの

⚠ 注意

► 強化ガラス製のもの

強化ガラス製の食器などは、洗浄中に粉々になって破片が飛び散り、けがの原因になります。

► 飛ばされやすい軽いもの

プラスチックのスプーンやふた、発泡スチロール容器、ふきん、スポンジ、ほ乳瓶の吸い口などの軽いものは、水圧で飛ばされて変形や破損の原因になります。

► 熱に弱いもの

- 耐熱90°C未満、および耐熱表示のないプラスチック食器
(耐熱75°C以上のプラスチック食器は、使用可能です)

必ず低温モードをご使用になられるときも、食器洗い乾燥機対応の食器なのか確認して下さい。

► 割れやすいもの

- 傷のついたガラス食器
- ひびの入った食器
- 木製の柄の付いたなべ、包丁

► 変色しやすいもの

- 銀製、洋銀製食器など
- アルミ製、銅製のなべや食器
- 木(竹、とう)製食器
- 漆塗り食器、重箱、金箔入りの食器、上絵付けの食器
- クリスタルグラス

► その他

- 鉄製のフライパンなど錆びるおそれがあるもの
- フッ素加工のフライパンなどで表面に傷があるもの
- びんやとっくり
- 食器洗い機専用洗剤に洗えないものとして記載があるもの

⚠ 注意 上記に記載のない食器については、販売店や製造メーカーにお問い合わせください。

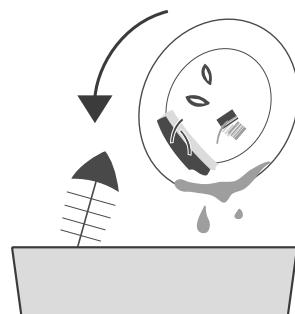
ご使用前の準備

► 食べ残しや故障の原因になるものを取り除く

- 輪ゴムやつまようじ、魚の骨などの固いもの
- 再付着するようなゴマなどの細かい残さ
- においが取れにくい魚の皮など
- 油のかたまりなどのひどい汚れ

► きれいに落ちないものをスポンジ等でこすり落とす

- なべの焦げ付き
- 食器の焦げ付き、こびり付き
- はしのこびり付き



⚠ 注意 上記に記載のない食器については、販売店や製造メーカーにお問い合わせください。

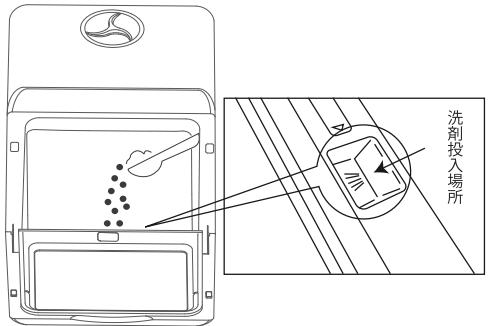
洗剤の入れ方

▶ 食器洗い機専用洗剤(食洗機用洗剤)をご使用ください。

ご使用前に食器洗い機専用洗剤に記載された、安全上と使用上の注意もご確認ください。

▶ 台所用洗剤や重曹を使用しないでください。

泡が立ちすぎるため、少量でも付着していると故障の原因になります。



※液体洗剤のご使用を推奨しております。

▶ 固形洗剤(粉末)は専用洗剤入れに投入してください。

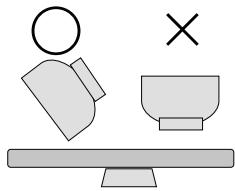
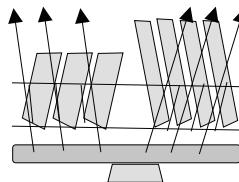
タブレットタイプ洗剤はメッシュトレイの上に置いてください。

液体洗剤は上部トレイと下部トレイに設置した洗浄する食器に直接かけてください。

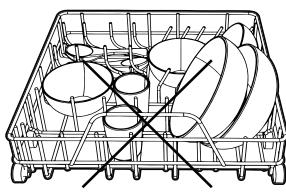
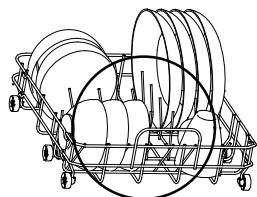
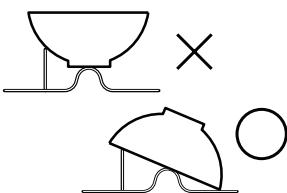
食器を入れる

▶ 食器の並べかたのご注意

下部ノズルの噴射水が当たるように下部洗浄トレイに対して、食器の汚れた面を下側に向け、入れてください。



食器が隙間なく重なっていると、下部ノズルの噴射水が届かないため、洗浄できません。隙間を開けてください。

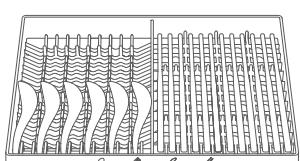
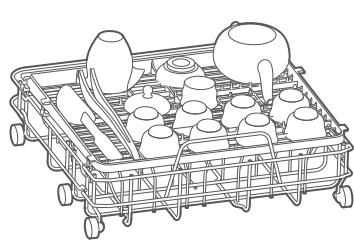
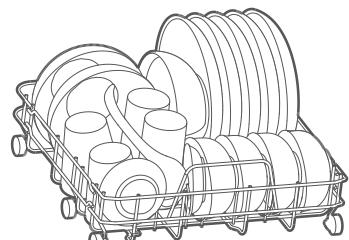
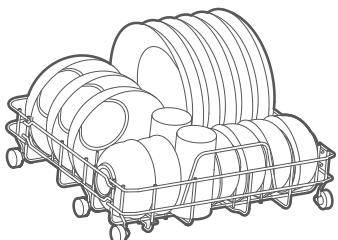


▶ 図のように食器を入れると、標準食器が16~17点収納できます。

大皿2~3点、中皿3点、小皿2点、小鉢2点、茶わん2点、汁わん2点、コップ3点、
小皿類(はし、スプーン、ナイフ、フォーク、レンゲなど)

お箸やスプーン、ナイフ、レンゲ、フォークは上部食器トレーに並べてください。

下記の図にあるように、正しく洗浄トレイに収納してください。 正しく収納しない場合、汚れに噴射水が当たらず、汚れが落ちない場合があります。



| 食器の洗いかた

給水の仕方

洗浄・すすぎに必要な水量(約4.8L)をブザーが鳴り、給水アイコンが消えるまで給水してください。付属品の給水カップで内部のタンクに水を入れる方法と、分岐水栓から給水する方法があります。



(電源) ボタンを長押しして電源を入れる

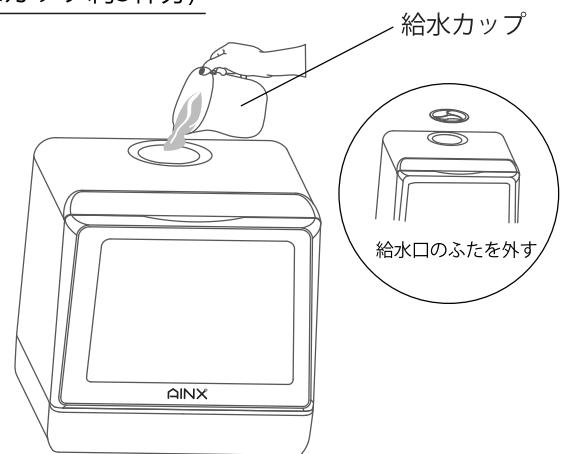
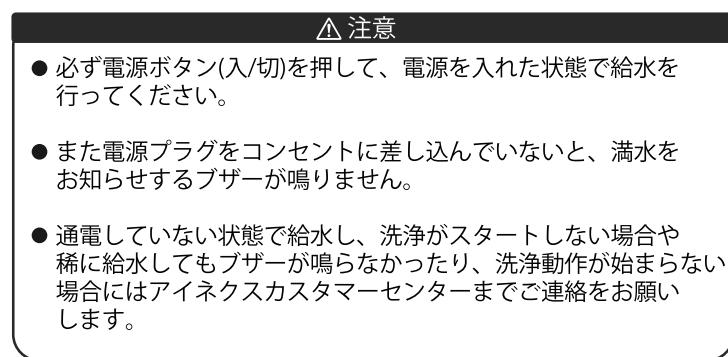
コントロールパネルの各メニューが点灯します。



給水する

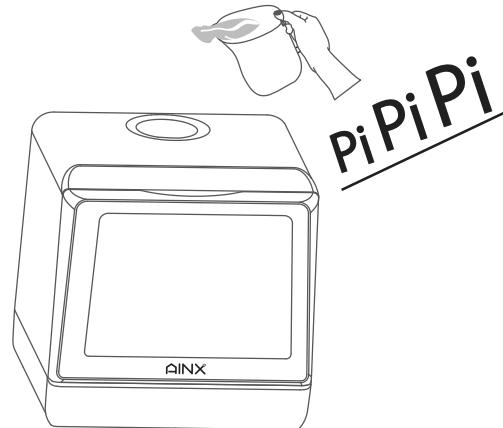
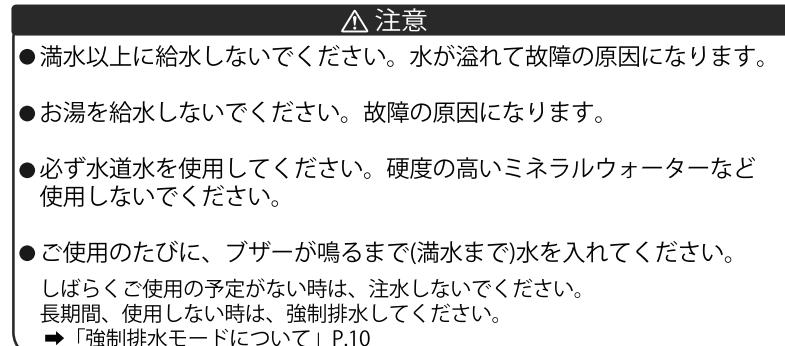
▶ 給水カップで上部の給水口から給水する場合(付属の給水カップ約3杯分)

本体上部の給水口のふたを外し、給水カップで水をゆっくり注ぐ



▶ ブザーが鳴ったら、給水をやめる

ブザーが鳴るまで給水してください。



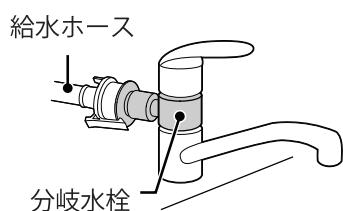
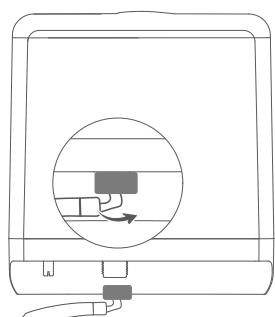
▶ 分岐水栓から給水する場合

付属の給水ホースを接続し、分岐水栓を開けてください。
分岐水栓の場合は、この時点では給水が開始されません。
洗浄コースを決定し「スタート / 一時停止」ボタンを押すとタンクに給水が始まります。
※「洗い」と「すすぎ」を繰り返す洗浄工程の中で、適時給水を行います。

分岐水栓の使い方は、分岐水栓に付属している取扱説明書などをご覧ください。

分岐水栓での給水を行う場合、一般的な洗濯機と同じ原理で、給水量が洗浄モードによって、自動的に調整されますので、満水になることはございません。

また長時間のご使用をされない時には、分岐水栓を閉めてください。



食器洗浄コースについて

使用用途や食器の種類、汚れ具合などによって5つの食器洗浄コースからお選びいただけます。各洗浄コースとも「洗浄」「すすぎ」を行うことで洗浄除菌します。

UV温風乾燥を行う場合には、乾燥動作(60分間)開始後、最初の10分間UVライトを照射することで除菌を行います。さらに最高75°Cの温風乾燥+送風乾燥で、庫内の食器を乾かします。

△注意

乾燥動作において、60分間を通して温風乾燥を行う訳ではありません。

食洗機庫内の食器を傷めることがないように、クールダウン動作のため温風乾燥から送風乾燥に切り替わります。

洗浄コースの実際の運転時間は、給水される水の温度などによって変わります。

洗浄コース	こんなときに	洗浄・すすぎ各時間と最高水温の目安
標準	食後すぐに洗う時 通常のご使用時	約75分間 最高水温(洗い:60°C /すすぎ:75°C)
急ぎ	汚れが軽微なもの つけおきや水洗い後の ものを洗う時	約40分間 最高水温(洗い:45°C /すすぎ:55°C) △注意 他のコースに比べて運転時間が短く、すすぎ温度も低いため、油汚れのあるものは 汚れが完全に落ち切らなかったりする場合があります。
低温	プラスチック製の 食器を洗うときなど	約85分間 最高水温(洗い:50°C /すすぎ:60°C) △注意 食洗機未対応の食器を洗えることをお約束するものではありません。 プラスチック製の食器は、料理の色素で色がついてしまう場合がございます。 色素の色は食洗機では落ちにくいので、その場合は食後すぐに洗ってください。
強力	食後から時間の経過したもの 料理器具などを洗う時	約100分間 最高水温(洗い:65°C /すすぎ:75°C)
ソフト	大切な食器など洗剤など使わず お湯だけで洗いたい時	約90分間 最高水温(洗い:55°C /すすぎ:75°C) △注意 軽い汚れのもの(コップや油汚れのない、あらかじめ洗った食器など)を想定しています 軽い汚れ以外は残る場合があります。標準コースなどで洗剤を使った洗浄をおすすめ します。

UV温風乾燥コースについて

5つの洗浄モードとは別に、UV乾燥モードが搭載されています。自動乾燥を行う場合、自動的に実行されます。

また、食器の乾燥だけを行う場合や洗浄モードの自動乾燥だけでは不十分な場合にお使い頂ける乾燥のみのモードです。UV温風乾燥を行う場合には、乾燥動作(60分間)開始後、最初の10分間UVライトを照射することで除菌を行います。

乾燥コース	こんなときに	乾燥時間と最高温度の目安
UV乾燥 入 / 切	庫内乾燥モードです。 自然乾燥だけでは不十分な時に	約60分間 最高温度:75°C

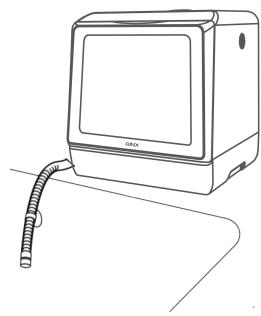
b モード実行選択
長押し 入 / 切

強制排水モードについて



(電源)ボタンを長押しして電源を入れる

▶ コントロールパネルの各メニューが点灯します。



△ 注意

- 排水を行いますので、排水ホースが繋がっているのか、必ずご確認を御願いします。



(電源)ボタンとUV乾燥ボタンを同時に5秒間長押しする

▶ 両手で同時に5秒間ほど長押しすると、給排水ポンプが稼働します。



(電源)ボタンとUV乾燥ボタンが同時に点灯し、

給水タンクに残った水を強制排水させることができます。

▶ 構造上タンク内及びメッシュトレー下に少量の水が残っていますが、故障ではございません。

b(breeze)モードについて

▶ 内部給水タンクや製品内部水路等を乾燥させることができます。

各コースでの運転や送風後、再結露やにおいのこもりが発生の緩和、長時間のご使用をしない時にご使用をください。



電源を入れ、UV乾燥ボタンを5秒間長押しする。

▶ ディスプレイ表示がbとなり、b(breeze)モードがスタートします。



△ 注意

b(breeze)モード実行中、送風と停止を繰り返し、60分ごとに15分間の送風乾燥を12回行います。
動作終了後、電源が自動的にオフになります。

b(breeze)モード動作中、扉を開け閉めして頂いても問題ありません。
扉を開けると一時停止、閉めると動作が再開されます。



b (breeze)モードを動作終了せず、途中でキャンセルする場合

▶ b(breeze)モード動作中に、(電源)ボタンを長押しして電源を切ってください。



予約タイマーについて

▶ 時間を設定し、設定した時間後に自動的に運転を開始します。

予約時間を1時間～6時間まで1時間単位で設定できます。



(電源)ボタンを長押しして電源を入れる

▶ コントロールパネルの各メニューが点灯します。



「洗浄コース/コース予約」ボタンを押し、予約実施したい洗浄・乾燥コースを選択

▶ 通常の洗浄乾燥コース実施と同様に、任意の洗浄・乾燥コースを選択し、まだスタートボタンは押さない



「洗浄コース/コース予約」ボタンを長押しし、予約時間設定画面に切り換えます

▶ 「洗浄コース/コース予約」を押し、1H(1時間)～6H(6時間)後まで1時間単位で予約時間を設定



予約時間決定後、「スタート/一時停止」を押し、予約タイマーを確定させます。



ブザーが鳴り終わる(給水と水道栓ランプの点灯が消える)まで、給水してください。

▶ 給水カップで上部の給水口から給水する場合(付属の給水カップ約3杯分)

本体上部の給水口のふたを外し、給水カップで水をゆっくり注ぐ



給水と水道栓ランプの点灯が消えるまで、給水してください。

▶ 分岐水栓での給水の場合、必ず水栓を開けた状態にしてください。

予約設定した時間に給水がスタートします。

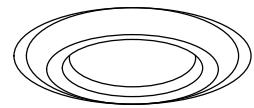
▲ 注意

- 満水以上に給水しないでください。水が溢れて故障の原因になります。
- お湯を給水しないでください。故障の原因になります。
- 必ず水道水を使用してください。硬度の高いミネラルウォーターなど使用しないでください。
- 先に給水した状態で予約タイマー設定をSTEP①～③まで行って頂いても問題はありません。予約時間に洗浄は開始されます。

UV温風乾燥コースについて

UV ライト照射面のみ除菌できます。

対象物全体を除菌する場合には、角度を変えたり裏返ししたりして全体に照射してください。



△ 注意

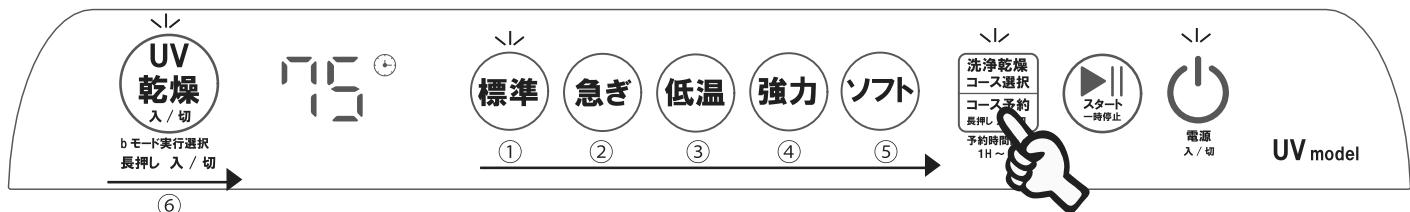
- 除菌の対象物や庫内上部に水滴がついている場合は、拭き取ってからご使用ください。
UV 除菌効果が弱くなる場合がございます。
- 変色しやすい物には使用しないでください。 紫外線により退色したり劣化したりする原因となります。
- UV ライトが点灯している時に扉を開けるときは、(スタート / 一時停止) ボタン及び電源ボタンを押して停止してから開けてください。
もしそのまま扉を開けたとしても、UV ライトから LED ライトに自動的に切り替わります。ご安心ください。
- 点灯中の UV ライトは、絶対に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因となります。
- 紫外線を皮膚にあてないでください。 皮膚の炎症を起こす原因となります。
- 温風乾燥実施時には必ず乾燥動作(60 分間)開始後、最初の 10 分間 UV ライトを照射します。
UV ライト照射をキャンセルすることはできません。

洗浄乾燥コースの設定について

▶ 任意の洗浄モード + 自動 UV 温風乾燥を実施する場合

「洗浄乾燥コース選択ボタン」を押し、希望する洗浄コースを選択してください。

実施する洗浄乾燥コースが決まったら、最後に「スタート / 一時停止」ボタンを押して、スタートです。



①から⑥の番号順に「洗浄乾燥コース選択ボタン」を押すと、モード(バックライトの点灯)が切り替わります。

▶ 任意の洗浄モードのみで乾燥を行わない場合

洗浄乾燥コース選択ボタンを押し、希望する洗浄コースを選択してください。直接「UV 乾燥 入 / 切」を押して、

バックライトの点灯が消えたのを確認して、最後に「スタート / 一時停止」ボタンを押して、スタートです。



▶ UV 温風乾燥モードのみを実行し、洗浄をしない場合

洗浄乾燥コース選択ボタンを押し、「UV 乾燥 入 / 切」を選択してください。

最後に「スタート / 一時停止」ボタンを押して、スタートです。



食器の洗いかた

食器を洗う/乾燥させる

STEP
1

ドアを開けて食器洗い機専用洗剤を入れる

▶タブレット洗剤はメッシュトレイの上に置いてください。高温すぎコースの場合は洗剤は不要です。

△ 注意

- ドアと本体のすきまに指を入れないでください。ドアの開閉時に指がはまれ、けがの原因になります。
- ご使用前に食器洗い機専用洗剤に記載された規定量のご使用を御願い致します。

STEP
2

かごや小物かごに食器をセットし庫内に入れ、ドアを確実に閉める

▶食器の入れ方に関して、並べかたと収納方法にご注意ください。

STEP
3

洗浄乾燥コースを選ぶ

▶選んだ洗浄コースのランプが点灯し、運転時間が表示されます。

→「洗浄乾燥コースの設定について」P.12

→「予約タイマーについて」P.11

STEP
4

(スタート／一時停止) ボタンを押して、洗浄を開始する

▶表示中の運転時間が減っていき、残り時間を確認できます。
洗浄が終わると、洗浄を終了し、電源が自動的にオフになります。

自動UV温風乾燥を実施する場合、洗浄完了後に自動的に自動UV温風乾燥に切り替わります。

予約を設定した場合は、設定した時間後に洗浄が始まります。

運転中に停電などにより電源が切れた場合、電力復帰後、中断したところから運転を再開します。

STEP
5

運転終了後、食器を取り出す

▶かごをゆっくり引き出し、手前から食器を1つずつ取り出してください。

△ 注意

- 食器が乾いていてもドアや庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。
水滴が気になる場合は、ふきんなどで拭き取ってください。
- 自動UV温風乾燥を実施した場合でも、長時間そのままにした場合、食器の材質や室温が低い等の条件によって、いったん乾燥した食器類に、庫内の水蒸気が結露して食器が濡れている場合がございます。
- 食器の形状や置き方によって、自動UV温風乾燥を実施した場合でも食器に水滴などが残る可能性がございます。

お手入れのしかた

△注意

- お手入れは、電源を切って必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- お手入れは運転終了後、庫内が常温になっていることを確認してから行ってください。
高温部に触ると、やけど・けがの原因になります。
- 本体に水やお湯を直接かけたりしないでください。
水漏れや内部に水が入るなどして、故障の原因になります。また、これらによって修理が必要となった場合、保証期間内であっても保証の対象外となりますのでご注意ください。
- お手入れ後に給水・排水ホースの接続が緩んでいないか、お確かめください。

残さいフィルターとメッシュトレー

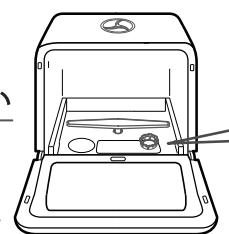
残さいフィルターには食器から取り除いた残さいが溜まりますので、メッシュトレイとあわせて毎回お手入れしてください。
残さいフィルターが詰まるとおい移りなどの原因になるほか、洗浄効果が落ち、故障の原因となります。



ドアを開けて下部洗浄トレーを取り外し、

残さいフィルターとメッシュトレーを取りはずしてください

- ▶ 残さいフィルターを反時計回りに回して上に引き上げると、
残さいフィルターがメッシュトレイごとはずれます。
お買い上げ時は、残さいフィルターが外しにくいことがあります。



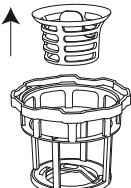
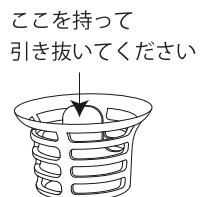
フィルターを反時計回りに
回して上に引き上げます。

メッシュトレイ



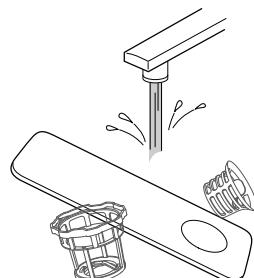
残さいフィルターの上部をまっすぐ引き抜いてはずす

- ▶ パーツが破損しやすいので、丁寧に上に引き上げてください。

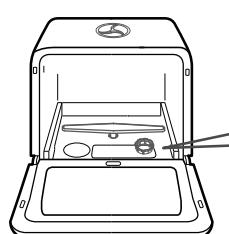


残さいフィルターの残さいを捨て、残さいフィルターと メッシュトレーを流水で洗う

- ▶ 洗ったあとは水気を取り、乾かしてください。



残さいフィルターを組み立て、メッシュトレーを本体に セットし、その後残さいフィルターをセットする



時計回りに停止するまで残さい
フィルターを回転させる。

メッシュトレイ



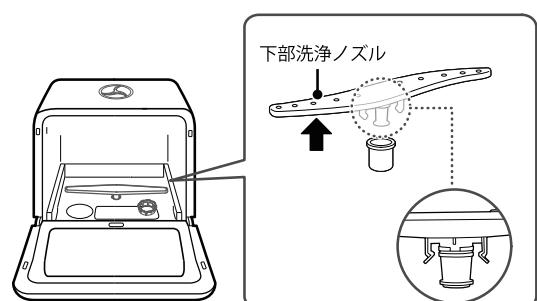
洗浄ノズル

ノズルは月に1回程度お手入れしてください。残さいが詰まると、洗浄効果が落ちる原因になります。

STEP
1

ドアを開けて下部洗浄トレーを取り外し、下部洗浄ノズルを取りはずしてください

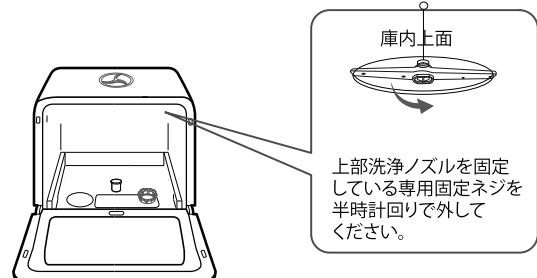
▶庫内底部から下部洗浄ノズルを垂直に引き抜いてください。



STEP
2

ドアを開けて上部洗浄トレーを取り外し、上部洗浄ノズルを取りはずしてください

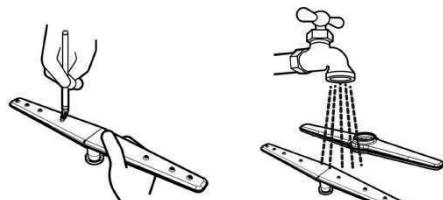
▶庫内上部から上部洗浄ノズルを固定している専用固定ネジを反時計回りに回して外してください。



STEP
3

ノズルを流水で洗う

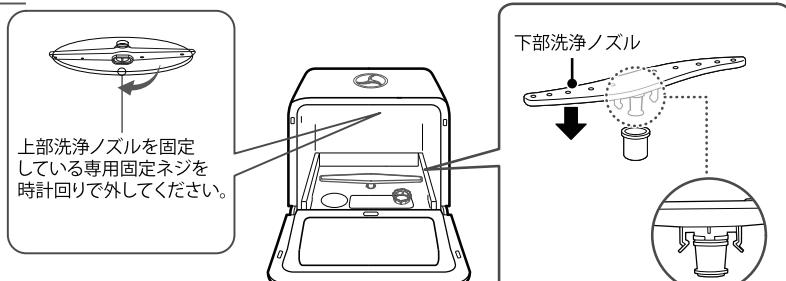
▶流水で残さいなどを洗い流してください。
爪楊枝などを使用し、ノズルの穴もお手入れしてください。



STEP
4

上部洗浄ノズル、下部洗浄ノズルを再設置する。

▶上部洗浄ノズルを固定している専用固定ネジを締めつけすぎると回転がしない場合がございます。ご注意ください。



本体

本体は定期的にお手入れしてください。

▶ドア・パッキン・本体外側は、よく絞った布で拭いてから柔らかい布でから拭きしてください。



▶ノズルの噴射水が直接当たらない庫内及び扉下部付近は、下部洗浄トレーを取り出してからよく絞った柔らかい布で拭いてください。

▶本体や接続ホース下部は、油汚れを防ぐため、よく絞った柔らかい布で拭いてください。

▶夏場や長期間ご使用される予定がない場合は、「強制排水モード」「b(breeze)モード」をご実施ください。

- 「強制排水モードについて」P.10
- 「b(breeze)モードについて」P.10

▲ 注意

- ドアパッキンが汚れた場合は、スポンジまたは水に濡らした清潔な布ですぐにお手入れしてください。
- お手入れの際は柔らかい布を使用し、目の粗いスポンジやクレンザーなどを使用しないでください。
本体やドアパッキンの傷につながります。
- 一週間以上使用しない場合は、よく絞った布でドアパッキンと庫内の汚れを取り除き、柔らかい布でから拭きしてください。
水滴や汚れが付着していると、黒カビが発生する原因になります。
- 本体外側は、漂白剤・洗剤・シンナー・ベンジン・クレンザー・ワックス・消毒液などを使用しないでください。
傷・変形の原因になります。

| 据え付け/設置

本製品は、以下の説明に従って正しく設置してください。

本書に記載の通りに設置・据え付け・試運転・点検を行わなかった場合、事故や損害が生じても当社は一切の責任を負いません。

設置場所

本体は定期的に手入れしてください。

▶ 本製品はキッチンのワークトップなど水平で安定した場所に設置してください。

傾いた場所に設置すると、水漏れしたり、正しく動作しないことがあります。

▶ ドアが正常に開き、問題なく操作できるだけの空間を確保してください。

扉を開けた際の最大奥行幅は約75cmとなっています。

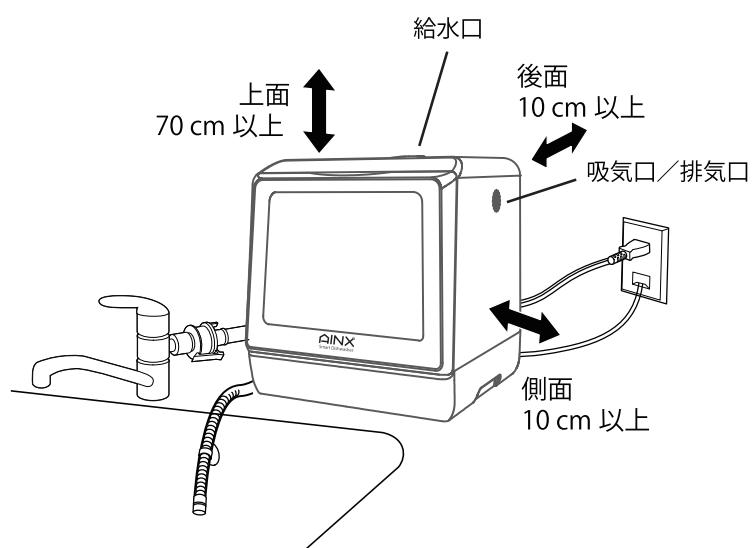
▶ 給水口、吸気口/排気口はふさがないでください。

故障する可能性がございます。

▶ 本体の金属部分が、流し台のステンレス板や家屋の金属部分などと電気的に接触しないでください。

法令により義務付けられています。(電気設備の技術基準の解釈)

詳しくはお住まいの市町村の条例に従ってください。



最小設置必要寸法(底面で本体を支える脚)は、横幅約40cm 奥行約35cmとなっています。
必ず、本製品を安定的に設置する十分なスペースを確保してください。

△警告

- 本製品より下およびその周辺に電気製品または時計、パソコンなど精密機器、または水気により使用不能となるようなものは絶対に置かないでください。湿気または漏水等によって故障や誤作動の原因になります。
- ガスコンロなどの熱源から30cm以上離してください。
火災の原因になります。

△注意

- 冬場に凍結する恐れがある場所(室温0°C以下)に置かない。
- 周囲に出来る限りのない所に置く。本体から出る水蒸気によって、結露することがあります。
- 热源から離し、直接日光の当たらない所に設置する。塗装の剥がれや変色の原因になります。

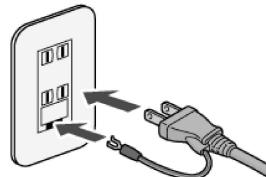
アース・電源の接続

漏電時の感電防止のため、アースを確実に取り付けてください。



アースを取り付ける

▶ アースの先端を確実にアース端子に接続してください。
設置抵抗値100Ω以下であることを確認してください。



△警告

アースを必ず取り付ける
故障や漏電時、感電の原因になります。

△注意

- コンセントにアース端子がない場合、必ず電気設備技術基準に基づく電気工事士によるD種設置工事をしてください。
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。工事の際は、工事費用が別途必要です。
- 電源回路には漏電ブレーカーが必要です。
法令で定められております。

ガス管、水道管、電話、避雷針のアース回路、漏電ブレーカーなど他の製品のアース回路には接続しないでください。
法令で禁止されています。

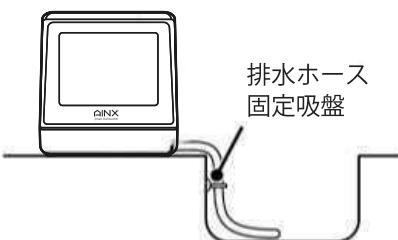


電源プラグをコンセント(AC100V、15A以上)にしっかりと差し込む

△ 注意

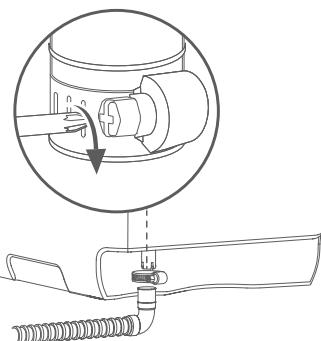
- 本製品は給湯機に接続できません。
- 分岐水栓を使用する場合、水道の水圧が0.04MPa～1MPaの範囲であることを確認してください。
範囲外での水道で使用すると、故障の原因になります。
水圧の確認は水道工事店またはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 給水カップで給水して使用する場合は、排水ホースの接続のみ行ってください。

シンクに排水する場合



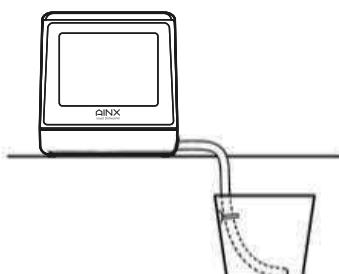
排水ホースの先端は本製品の設置面よりも低く設置してください。

付属の排水ホース固定ネジで排水ホースを固定してください。



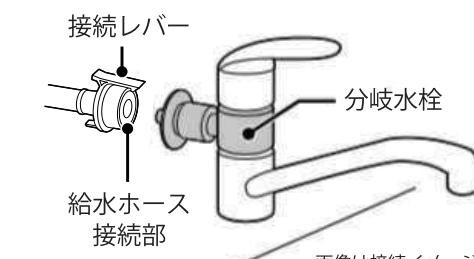
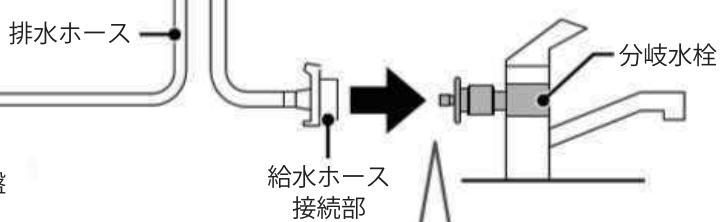
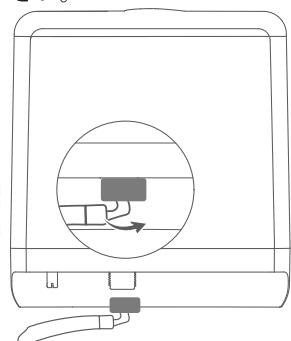
食洗機背面

バケツなどに排水する場合



排水ホースの先端は本製品の設置面よりも低く設置してください。

付属の給水ホースをホース接続部が動かなくなるまでしっかりと締め付けてください。



画像は接続イメージ

STEP 1 分岐水栓を使用する場合、分岐水栓を取り付け、給水ホースを接続する

(分岐水栓を使用しない場合は、STEP 2 から始めてください)

▶ 分岐水栓の取り付け方法に関しては、販売店または施工業者へのお問い合わせください。

▶ 給水ホースを給水ホース接続口に差込み、しっかりと締め付けてください。

完全に奥まで上に上がりません。食洗機本体の給水ホース接続部が動かなくなるまで、しっかりと締め上げてください。
レンチ等の工具等をご用意いただき、ご使用いただけますと簡単に締め上げることができます。

▶ 給水ホース接続部のレバーを押して、『カチッ』と音が鳴るまで分岐水栓に押し込んで接続します。

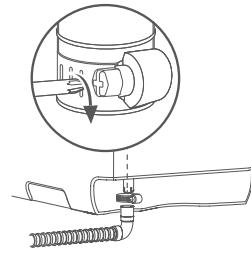
△ 注意

- 接続後は分岐水栓を開き、接続部など水漏れがないことを確認してください。
- 給水ホースの接続口のふたを取り外すときは、ふたをなくさないように必ず保管をしてください。
また分岐水栓をご使用にならない場合は、絶対に外さないでください。



排水ホースを本体に接続する

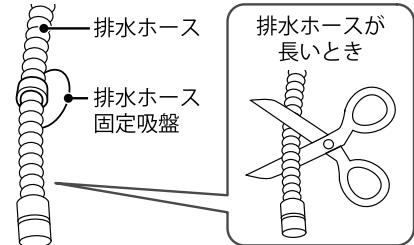
- ▶ 排水ホースを排水ホース接続口に奥までしっかりと差し込み、排水ホース固定ネジで固定します。
排水ホース固定ネジは、ドライバー等でしっかりと締め上げてください。



排水ホースを固定する

- ▶ 排水ホース固定吸盤を、排水場所に固定します。
排水ホースの先端は、本製品の接地面より低くしてください。

排水ホースが長すぎる場合は、ハサミ等で余分な部分を切り取ってください。
切り取りに関して、事故や損害が生じても当社は一切の責任を負いません。



試運転を行う。

△ 注意

本製品は出荷前に洗浄動作テストを実施しており、清掃をして出荷をしています。
そのため、少量の水が庫内に残り、においがすることがございますので、
使用前に試運転を行ってください。

- ▶ 急ぎコースで運転をしてください。
その際に、給水および排水が正しく行われるか、接続部などに水漏れがないか
ご確認ください。
運転のしかた ➡ 「給水する」 P.8 ➡ 「食器を洗う/乾燥させる」 P.13



△ 注意

- 本製品を使用しないときは、分岐水栓を閉めてください。
- 給水ホースは必ず付属の給水ホースを取り付け、当社純正製品以外のものは使用しないでください。
使用すると水漏れおよび破損の原因になります。
- 分岐水栓を使用しない場合、給水ホース接続口のふたを外さないでください。
給水口から給水したとき、水漏れの原因になります。
- 給水ホースを外したときは、必ず接続口のふたを再度取り付けてください。
給水口から給水したとき、水漏れの原因になります。



| 洗浄の仕上がりが気になるとき

ガラス製の食器が白くくもる、白い跡が残る。

- 表面に小さな傷のついたガラス食器を高温で洗うと、まれに白くくもる場合があります。

クリスタル製の食器は白くくもるため、入れないでください。

ひどい油汚れは、汚れが残る場合があります。食器洗い機専用洗剤を多めに入れて、洗浄してください。

白い跡は水に含まれているミネラル分によるものです。場合によってはクエン酸をつけて、手洗いしてください。

汚れが落ちない。

食器洗い乾燥機専用の洗剤を使用していますか。必ず食器洗い乾燥機専用洗剤を使用してください。

食器洗い機専用洗剤は汚れに応じて適切な量を入れましたか。洗剤の量が足りないと汚れが落ちない場合があります。

食器が下部洗浄トレーの底からはみ出して、ノズルの回転を止めていませんか。食器が下部洗浄トレーからはみ出さないように入れてください。

食器を入れすぎていたり、重ねて入れていたり、食器を入れる向きが間違っていますか。すべての食器にノズルの噴射水が届くように正しい向きで入れてください。

残さいフィルターやノズルが詰まりていませんか。また、きちんと取り付けられていますか。残さいフィルターとノズルをお手入れしてください。

焦げ付きや油汚れなどがある場合は、事前にこすり落としてから入れるか、手洗いしてください。

急ぎコースは洗浄時間が短いため、汚れをしっかり落としたい場合は強力コースで洗浄してください。

黄ばむ、黒ずむ。

水に含まれている鉄分や、茶しぶなどによるものです。ときどき食器を手洗いしてください。

粉末洗剤が残る。

粉末洗剤が固まっていますか。かたまりがある場合は碎いてから使用してください。

洗剤が古くなっていますか。新しい食器洗い機専用洗剤を使用してください。

洗剤を入れすぎていませんか。食器の量や汚れ具合に応じた量を入れてください。

ノズルが詰まっていたり、ノズルの回転が止まっていますか。

食器の底のくぼみに水滴が残る、乾きが悪い。

送風で乾燥させるため、かごに接触している部分や食器が重なっている部分、くぼみなどに水滴が残ることがあります。少し傾けてセットすることで残る水の量は少なくなります。

食器が重なっていますか。食器を離して入れてください。

プラスチック製品の場合は、水をはじいて大きな水滴になるため乾きにくくなります。UV温風乾燥モードを再度ご実施ください。

プラスチック製の食器が変形してしまう。

プラスチックは熱の影響で変形するおそれがあります。食器洗い乾燥機に対応しない耐熱温度65°C未満のプラスチック製の食器は、絶対に洗わないでください。

耐熱温度65°C～90°C未満のプラスチック食器は低温コースで洗ってください。

| 食洗機庫内の汚れが気になるとき

食洗機庫内に白い汚れが目立つ

食洗機の庫内の白い粉のような汚れは、水垢汚れや石けんカス汚れです。

水垢汚れは、水道水に含まれるミネラル分が乾いて固まったものです。

石けんカス汚れは、食器を洗う洗剤が庫内に残ったもので、そのままにしておくとピンク色のヌメリが発生してしまいます。

→クエン酸や食洗機専用の洗浄剤を使用し、汚れを落としてください。

水垢や石けんカス・ヌメリの多くは、アルカリ性汚れです。そのため酸性のクエン酸を使うと、アルカリ性汚れを中和して落とすことができます。

△ 注意

他の洗剤と混ぜてはいけません。特に塩素系漂白剤と混ぜると、有毒ガス発生の恐れがあります。

洗浄後は水でしっかりすすいでください。クエン酸のすすぎ残しがあると、食洗機を傷付ける恐れがあります。

食洗機庫内がベタベタする

食洗機の庫内のベタベタした汚れは、油汚れです。食器に付いている油汚れは、食洗機で分解・洗浄されます。

しかし一部の油汚れは、そのまま庫内に残ってしまう可能性があります。

→酸素系漂白剤のオキシクリーンや食洗機専用の洗浄剤を使用し、汚れを落としてください。

食洗機のベタベタした汚れは、食器に付いた油汚れが残ったものです。油汚れは酸性のため、クエン酸のような酸性成分では汚れを落とせません。

△ 注意

泡立ちのよいアメリカ版オキシクリーンを使う場合は、分量を少なめにしましょう。泡が故障の原因になる場合があります。

部分的な汚れを落としたい場合は、少量の食器用洗剤を使って、やわらかいスポンジでやさしくこすって水洗いしてください。その後布やキッチンペーパーで水分を拭き取って乾燥させてください。

食洗機庫内に黒い汚れが目立つ

食洗機の庫内の黒い汚れは、食洗機洗浄を行う過程で、洗浄時の汚れが集中的に溜まったものです。その場合は拭き取ってください。また、食洗機を長期間ご使用にならない場合、食洗機庫内に残った汚れや洗剤の残留物がカビになってしまう例が報告されております。

→特にゴムパッキンはハネた油汚れやタンパク汚れが付いたままになったり、濡れても乾きにくく、カビが発生する場合があります。

食洗機のカビを掃除するには、塩素系漂白剤を使います。

庫内とゴムパッキンとではカビ取りの仕方が異なりますので、注意してください。

【庫内のカビ取り手順】

1. カビに直接塩素系漂白剤をスプレーして、5分ほど放置する。
2. 洗剤を入れないで、急ぎコースで空洗いする。
3. 庫内の水分を拭き取り、乾かす。

【ゴムパッキンのカビ取り手順】

1. 綿棒やキッチンペーパーで、ゴムパッキンに入り込んだゴミなどを取り除く。
2. 薄めた漂白剤(水100mL+漂白剤10mLほど)を綿棒やキッチンペーパーに含ませ、カビを拭き取る。
3. 乾いた綿棒やキッチンペーパーで、薄めた漂白剤を拭き取る。

△ 注意

塩素系漂白剤は、特に酸性の洗剤と混ぜると、有毒ガスを発生する恐れがあります。

もし食洗機掃除とカビ取りと一緒にしたいなら、先にカビ取りをして塩素系漂白剤をキレイに洗い流し、その後で食洗機掃除を行うようにしてください。

食器用洗剤も一緒に使うなど、同時に複数の洗剤で掃除はおこなわないでください。

塩素系漂白剤を使っている間は、必ず十分な換気を行うようにしてください。

食洗機庫内にゴムやプラスチック、樹脂のニオイがする

ご購入いただいたから、しばらくの間は機器のニオイが残る場合がありますが、機器の異常や故障ではありません。

プラスチックの素材自体にニオイはありません。プラスチック素材は無臭ですが、柔らかく加工しやすくするために製造段階で可塑剤という物質が加えられます。この可塑剤がプラスチック独特のニオイを放つことがあります。

通常通り、3~5度ご使用になるうちに緩和されていきます。

| 故障かなと思ったら 修理をご依頼する前にご確認ください。

電源が入らない。

電源プラグが抜けていませんか。 ➔ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

運転が開始されない。

ドアがきちんと閉まっていますか。

給水アイコンが表示されていませんか。

➔ ドアをきちんと閉めてください。

➔ 分岐水栓を接続している場合は分岐水栓を開いてください。接続していない場合は、給水アイコンの表示が消えるまで給水カップで給水してください。

△ 注意

給水カップでただしく給水しているにも関わらず、運転が開始されない場合は、強制排水モードを行い、一度排水してください。
それでも状況が改善しない場合には、カスタマーセンターまでお問い合わせください。

➔ 「強制排水モードについて」 P.10

ドアが閉まらない。

食器がドアに当たっていませんか。

下部洗浄トレーがドアに当たっていませんか。

➔ 食器がドアに当たらないようにして、しっかりとドアを閉めてください。

➔ 下部洗浄トレーがただしく設置されているか、ご確認ください。

分岐水栓接続時、給水アイコンが点滅する。

給水不足時や給水がただしく行われていないときに点滅します。

「電源(入/切)」ボタンを長押しし、電源を切り、以下を確認してください。

給水ホースが折れ曲がっていませんか。

分岐水栓が閉まっていますか。

給水ホースが詰まっていますか。

断水していませんか。

➔ 給水ホースを確認し、折れ曲がっている場合は直してください。

➔ 分岐水栓を開いてください。

➔ 電源プラグを抜いて分岐水栓を閉め、給水ホースをお手入れしてください。

➔ 水道が復旧したら、他の水栓を開けて濁った水が流れないと確認した後、本製品が接続されている分岐水栓を開けて運転を再開してください。

➔ 25°C以上の環境にしばらく放置してください。その後、運転を再開できなかった場合は故障の可能性があります。アイネクスカスタマーセンターにお問い合わせください。

扉の窓がくもる。

運転終了後、庫内の余熱や水滴により窓がくもることがあります。b(breeze)モードを使用すると、窓のくもりを緩和することができます。水に含まれているミネラル分によって、白くくもることがあります。よく絞った柔らかい布で拭いてください。

➔ 「b(breeze)モードについて」 P.10

動作中、洗浄モードの設定変更ができない

仕様上、一度選択実行した洗浄モードは動作途中で変更はできません。一度、動作をキャンセルする必要があります。

自動乾燥(UV温風乾燥)の実行の設定変更は洗浄モードは動作途中でも可能です。

ぶつかるような音やカタカタ音がする。

食器がノズルに当たっていませんか。 ➔ 食器がかごからはみ出し、ノズルに当たらないように設置してください。

軽い食器は運転中に移動することがあります。軽い食器を入れるときは、できる限り安定するように置いてください。

メッシュフィルタ下に、排水しても水が溜まっている。

正常な状態です。故障ではありません。次の洗浄モード開始時に、自動的に排水が行われます。

長時間お使いになる予定がない、気になる場合につきましては、乾いた布等で拭き取って下さい。

分岐水栓接続時、給水が止まらない。

給水弁が故障している可能性があります。分岐水栓を閉めて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または施工業者にお問い合わせください。

| 故障かなと思ったら 修理をご依頼する前にご確認ください。

泡が立ちすぎる。

台所用洗剤を使用していませんか。事前に手洗いしたときの洗剤が残っていますか。

→台所用洗剤は使用できません。少量でも付着していると故障の原因になりますので、必ず食器洗い機専用洗剤をご使用ください。
泡が消えない場合は、庫内の泡がなくなるまで強制排水モードを実行してください。

洗浄やすすぎ中にノズルの噴射が止まる。

ノズルの穴が詰まっていますか。ノズルのお手入れをしてください。

使用後、本体内部に水滴がついている。

結露によるものです。食器が乾いていてもドアの内側や庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。

△ 注意

- 食器が乾いていてもドアや庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。
水滴が気になる場合は、ふきんなどで拭き取ってください。
- 自動UV温風乾燥を実施した場合でも、長時間そのままにした場合、食器の材質や室温が低い等の条件によって、いったん乾燥した食器類に、庫内の水蒸気が結露して食器が濡れている場合がございます。
- 食器の形状や置き方によって、自動UV温風乾燥を実施した場合でも食器に水滴などが残る可能性がございます。

ブレーカーが落ちた。

原因を取り除いてからブレーカーを復帰させてください。通電確認後、スタート/一時停止ボタンを押すと運転を再開します。

停電した。

停電回復後に通電確認を行い、スタート/一時停止ボタンを押すと運転を再開します。

断水した。(分岐水栓と接続し、給水を行っている場合)

電源(入/切)ボタンを押して電源を切り、分岐水栓を閉めます。水道が復旧したら、他の水栓を開けて濁った水が流れないと確認した後、本製品が接続されている分岐水栓を開けて運転を再開してください。

凍結した。

25°C以上の環境にしばらく放置してください。その後、運転を再開できなかった場合は、故障の可能性があります。

電源プラグを抜いて使用を中止し、アイネクスカスタマーセンターまでお問い合わせください。

ディスプレイに E2 が表示される。

排水ホースが曲がったり詰まっていますか。ご確認ください。確認後、再スタートしても変わらない使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き販売店またはアイネクスカスタマーセンターにお問合せください。

ディスプレイに E3 が表示される。

満水以上の給水するなどした場合や台所用洗剤を使用して泡が大量に発生した場合、E3が表示される場合があります。
本体を斜めにするなどして、底面の水が排水されることで改善される場合があります。
下記の本体底面の水を抜く手順をお試しください。

【本体底面の水の抜き方】※本体の隙間から水が漏れるため、流し台などで作業してください。

1. 電源プラグを抜く
2. 本体底面の背面下にタオルなど敷く。
3. 本体を後ろに20度~30度傾けて、本体底面に溜まった水を抜く。

その後、電源プラグを差し込み、電源を入れて症状が解消されるか確認してください。運転が再開できなかった場合は故障の場合があります。電源プラグを抜き、アイネクスカスタマーセンターにお問い合わせください。

△ 注意

E3が表示され、底面より水が溢れ出ている場合、すぐに使用を中止し、アイネクスカスタマーセンターまでお問合せください。

| 故障かなと思ったら 修理をご依頼する前にご確認ください。

ディスプレイに E6 が表示される。

庫内の洗浄乾燥時に高温度になったことによるセンサー誤作動の可能性があります。

食器の設置状況によって庫内温度が一部箇所のみ高くなり、その空気が滞留したことにより、温度センサーが安全設計上作動し E6 エラー表示になる可能性が報告されています。

食器の設置状況をご確認ください。正面から見て吸気口/排気口がある右側に、大きい食器を設置をされている場合は、食器の位置を移動させてください。

E6 エラーが確認されると、性能上メモリーに記憶され、連続的にご使用しますと無条件に再度同じエラーが表示されてしまいます。

一度コンセントを抜いて頂き、1時間～2時間ほどそのままにして、その後通常通りお使いください

△ 注意

上記ご実施頂いたにも関わらず、状況が改善しない場合、すぐに使用を中止し、アイネクスカスタマーセンターまでお問い合わせください。

ディスプレイに E4、E5、E7 が表示される。

故障の可能性があります。電源(入/切)ボタンを長押しして、電源を切り、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、カスタマーセンターまでお問い合わせください。

| 仕様

品名(型番)	食器洗い乾燥機 (AX-S7)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
定格消費電力	900 W
重量(約)	13.5kg (給水カップ、給水/排水ホース、下部/上部洗浄ノズル、下部/上部洗浄トレイ、排水ホース固定クリップ)
外形寸法(約)	幅 42.8 cm × 奥行 42.5 cm × 高さ 45.8 cm
使用水量(約)	4.8L
水道水圧	0.04 MPa～1 MPa
洗浄方式	回転ノズル噴射式
すすぎ方式	ためすすぎ
電源コードの長さ	約150cm
給水/排水ホースの長さ	約160cm
乾燥方式	温風
標準収納容量	16 点(大皿2点、中皿2点、小皿2点、中鉢2点、小鉢2点、茶わん2点、汁わん2点、コップ2点、小物類(はし、スプーン等))
温度ヒューズ	180°C
付属品	給水カップ、給水/排水ホース、下部/上部洗浄ノズル、下部/上部洗浄トレイ、排水ホース固定クリップ
生産国	中国

△ 注意

この製品は、日本国内用に設計・販売されています。日本国外ではご使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、弊社公式オンラインサイトでご購入いただけます。
プラスチック部品はご使用に伴い、傷んだり摩耗したりします。

詳しくは、以下ホームページをご覧ください。

<https://www.ainx.jp/>

保証書

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。

お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げ販売店またはアイネクスカスタマーセンターまでお問い合わせください。

AINX 食器洗い乾燥機 AX-S7

ご購入日	年 月 日	保証期間	ご購入日より1年間
お客様	ふりがな お名前 ご住所	お電話番号	

無料修理規定

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはアイネクスカスタマーセンターまでご依頼ください。

ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、アイネクスカスタマーセンターまでご連絡ください。

1.保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
- (4) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (5) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
- (6) 本書のご提示がない場合。
- (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネット等でお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
- (8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
- (9) 腐食による故障、及び損傷。
- (10) 消耗部品の交換。
- (11) お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。

2.修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。

また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。

3.本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。

4.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

AINX（アイネクス）株式会社 〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-8 VORT芝大門II 4F

販売店

未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象外になる可能性があります。

お客様の個人情報お取扱いについて

AINX（アイネクス）株式会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。またお電話での会話内容は録音させていただく場合があります。折り返しお電話をさせていただくために発信番号の通知のお願いと発信番号の確認をさせていただいております。

個人情報を適切に管理し、修理業務の委託の場合や正当な理由がある場合を除いて、第三者に開示・提供することはありません。個人情報お問い合わせは下記記載の窓口にご連絡いただけますようお願いします。

ホームページ（お客様サポート）

お問い合わせはホームページのお問合せフォームより
24時間受け付けております。

<https://www.ainx.jp/>

部品・消耗品のご購入についてもホームページにリンクがあります
公式オンラインストアで販売をしております。

お電話でのお問合せ：カスタマーセンター

TEL： 03-6381-5050

受付時間： 9:00～17:00

（土日祝日、弊社指定休業日を除く）
時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更する場合がございます。